

令和2年度 学校経営計画 各学年重点目標と達成方法

		中学1年 令和2年度重点目標														
		①「学力向上に向けて」														
重要度 [4]大変に重要 [3]やや重要 [2]あまり重要でない [1]重要でない	達成度 [4]75~100% (ほぼ達成した) [3]50~74% (まあまあ達成した) [2]25~49% (あまり達成できなかつた) [1]0~24% (ほとんど達成できていない)	項目1	目標	①グローバル人材の育成を進めていく。基礎学力の向上、学習意欲の喚起を行なっていく。												
				②生徒が「今だからできること」に目を向けて自ら学ぶ姿勢、自分の意見を表現する姿勢を定着できる授業を展開していく。												
				③自らの意欲を高めていくために、各種検定に目標値を設定し、取得させていく。												
		項目2	目標	①わかばを活用し、学習のスケジュール管理ができるように指導していく。学年通信や学級通信(学年ガイダンス)や授業を通して学習法について積極的にアドバイスを行う。各種小テストや補習などの取り組みを可能な限り行い、基礎学力の定着化を進めていく。(オンライン授業や講習も含む)												
				②授業内でタブレットPCを積極的に活用し、思考・意見交換の機会を積極的に設定する。また、manaba・スタディサプリ・ロイロノートの活用や各教員が作成した教材(オンライン教材)等を活用し、自ら学習する習慣の定着を図るようにしていく。												
				③進路実現のために主軸となる「英語」の習得の目標となる英検4級の全員の取得を目標とし、数検や漢検、その他個人の興味のある検定にも積極的に取り組む姿勢を育てる。												
		項目3	目標	②「生きる力の育成に向けて」												
				①「日常の五心」を実践させ、基本的な生活習慣の基礎をしっかりと身につけさせる。												
				②社会人に必要な生活の基礎となる「けじめのある生活の構築」「自主・自律の精神の構築」を目指し、学力と人間力の繋がりを意識できるように指導していく。												
		達成度	達成方法	③道徳やピアサポートを通して、豊かな心を養っていく。(ピアサポートはコロナ禍により2学期からの実施)												
				①元気な挨拶・時間厳守・整理整頓・日々感謝の心を持つ等の、基本的習慣の指導をしていく。												
				②ガイダンスや集会、日々のLHRやHR、各種式典でメモを取ることを身体化させ、「聞く」姿勢を身に着けさせる。また、その振り返りを行うことで意識づけをしながら実践に繋げていく。												
				③道徳やピアサポートなどのプログラムに積極的に参加させ、「振り返り」にしっかりと取り組ませていくことで、豊かな心を養うように努める。												
		項目1		項目2		項目3										
		重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度									
部署コード/平均		4.00	3.00	3.83	3.25	3.83	3.08									
1		4	3	3	3	4	4									
2		4	1	4	2	4	2									
3		4	4	4	4	4	3									
4		4	3	4	3	4	3									
5		4	3	4	3	4	3									
6		4	3	4	4	4	3									
7		4	3	4	4	4	3									
8		4	3	4	3	4	3									
9		4	4	4	4	4	4									
10		4	3	4	3	3	3									
11		4	3	4	3	4	3									
12		4	3	3	3	3	3									

<取組状況・次年度への課題など>

・どの項目も学年としての重要度が高いと判断し、先生方が一つ一つの課題に向き合って取り組んでいただきました。「コロナ禍の中学校1年生」ということでまだまだ未熟な部分も多いのですが、「そんな今できること」「そんな今だからできること」に目を向けて前向きな励ましとともに、「けじめある学校生活の基礎作り」ができたのではないか、と感じています。(先生方の、項目2の達成度が高いことから)

・次年度に向けては、達成度の低い項目1「学力向上に向けての取り組み」に重点を置いていく必要があると考えています。「コロナ禍」につき実施できなかつた放課後学習や対面での講習などを実施し、まずは成績不良者へのフォローをしていく、その上で、中・上位者への学習フォローも夏季休暇あたりから実施していきたいと考えています。(生徒たちからの要望もあるため)

また、それと並行して、「項目2」の目標達成に向けても継続して指導していきたいです。

令和2年度 学校経営計画 各学年重点目標と達成方法

		中学2年 令和2年度重点目標														
重要度 [4]大変に重要 [3]やや重要 [2]あまり重要でない [1]重要でない	達成度 [4]75~100% (ほぼ達成した) [3]50~74% (まあまあ達成した) [2]25~49% (あまり達成できなかつた) [1]0~24% (ほとんど達成できていない)	項目1 ①「学力向上に向けて」														
		目標	①グローバル人材の育成、基礎学力の向上、学習意欲の喚起を行ない、大学入試選抜に対応できる基礎を作る。 ②生徒が自ら学ぶ姿勢、自分の意見を表現する姿勢を定着できる授業を展開していく。 ③自らの意欲を高めていくために、各種検定に目標値を設定し、取得させていく。													
			達成方法	①わかばやスタディサプリのメモ機能を活用することにより、学習のスケジュール管理や振り返りができるように指導していく。学習法について積極的にアドバイスを行う。オンラインを活用し、学力の定着化を進めていく。 ②授業内でタブレットを積極的に活用し、思考・意見発表の機会を積極的に設定する。スタディサプリの活用や家庭学習の定着により、自ら学習する習慣の定着を図るようにしていく。 ③英検や数検など、外部検定受験を積極的に促し、自ら課題に取り組む姿勢を身に着けさせる。												
		項目2 ②「生きる力の育成に向けて」			①基本的な生活習慣の基礎を身に着けるため、時間管理や礼儀を自主的にできるように育てる。 ②社会人に必要な生活の基本となる「7つのルール」に徹底的に取り組み、学力と人間力の繋がりを意識できるように指導していく。 ③自ら考え行動できるように育てる。											
		目標	達成方法	①挨拶、時間の管理の大切さを指導すると共に、自ら考え行動できるように促す。 ②ガイダンスや集会でメモを取ることを身体化させ「聞く」姿勢を身につけ、振り返りを行うことで意識づけをし、実践に繋げていく。 ③学校行事等を通して、自ら考え行動していくことを練習させていく。												
				③「学校教育環境整備と質向上に向けて」												
		目標	方達成法	開かれた学校を目指し、情報公開を進めていく。 定期的に学校だより、学年通信、学級通信を通して情報を発信し、学校生活の詳細を保護者にお知らせする。また、学校アンケート等を共有し、改善を目指す。												
				項目1	項目2	項目3										
		重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度									
部署コード/平均		3.91	3.09	3.82	2.73	3.36	3.00									
1		4	4	4	2	4	3									
2		4	3	3	3	3	3									
3		4	3	4	3	3	3									
4		4	3	4	3	3	3									
5		4	3	4	2	4	4									
6		4	3	4	3	3	3									
7		4	3	4	2	3	2									
8		4	3	4	3	4	4									
9		4	3	4	3	3	3									
10		4	3	4	3	4	2									
11		3	3	3	3	3	3									

〈取組状況・次年度への課題など〉

項目1: 学力向上に向けて オンライン授業中も含め、計画をきちんと立ててスケジュール管理や振り返りを行うことができた。スタディサプリの活動メモも活用できた。1学期のオンライン期間中に意識の高い生徒は自ら考え、学習する力を身に着けたが、そうでない生徒は授業参加や課題をこなすのもままならい状態になってしまった。その後の対面授業期間でフォローはしたが、今後も声掛け等が必要である。

オンライン授業3学期は教師、生徒ともに慣れてきたので、有意義な時間を過ごすことができた。

対面授業中は学校にいる時間が短かったが、MMTの追試等できる限りのことが実施できた。また、制約がある限られた時間で一步先のことを考える力が身についたと思う。

項目2: 生きる力 立てた計画のほとんどがコロナ禍のために実施できなかった。そのため達成度も低かった。部活動がほとんどできなかったので、はじめての先輩としての時間も少なかった。来年度は中学最高学年なので、行事や部活動等、今後の活動を通して自ら行動していく力をつけてあげたい。

項目3: 教育環境整備 オンライン授業で1学期がスタートしたこともあり、こちらかの情報伝達は頻繁に行われた。学年通信や学級通信等さまざまな情報がmanabaを通して発信され、生徒、保護者側も必然的にそれを見る形となったことはよかったです。アンケートに書かれたことで可能なことは次年度に実現したいと思う。

令和2年度 学校経営計画 各学年重点目標と達成方法

令和2年度 学校経営計画 各学年重点目標と達成方法

		高校1年 令和2年度重点目標																	
重要度 [4]大変に重要 [3]やや重要 [2]あまり重要でない [1]重要でない	達成度 [4]75~100% (ほぼ達成した) [3]50~74% (まあまあ達成した) [2]25~49% (あまり達成できなかつた) [1]0~24% (ほとんど達成できていない)	①「学力向上に向けて」																	
		目標	達成方法	①希望進路を実現するための実力養成をはかる ②振り返りと改善の習慣定着を促す ③多様な他者との関わりや協働的な学びによる、学習に対するモチベーション向上をはかる ①予習を重視し、授業が復習となるような学習習慣の定着を図る。また、ホームルームにおいて定期的に小テストを実施することで基本的な学習姿勢を身につけさせ、短時間の自習・読書時間を設置することで短時間集中による学習の質向上を図る。一方で、自主的に進める学習課題の提供、オンライン教材の開発、スタディサプリの運用により、個々のペースに応じた学習を促進する。 ②模試や検定を推奨(例:TEAP全員受験)し、ポートフォリオの記入を習慣化するなど、自己の取り組みを振り返る機会を設ける。 ③Global Study Tourに向けてSDGsに関するワークショップや協働的な学びを経験することで、地球規模の課題を自らの課題と捉える姿勢を育成する。また、校外の方との交流会や講演会、Global Study Tourにおける交流予定校とのオンライン交流、「夢ナビ」などの進路研究イベントへのオンライン参加などを通して、将来を見据える視野の広さ、外交的な思考を育成する。															
		②「生きる力の育成に向けて」																	
		項目2	目標	①自立・自律した社会人、協働できる人材の育成をめざす ②キャリア教育の推進をはかる ③ネットリテラシーレベルの向上をはかる ①校則や生徒指導方針、「7つのルール」などを意識して生活することで自立・自律を促し、他人への配慮を常に気を付けるよう指導する。 ②多様な経験を糧として現在活躍されている社会人の方々と交流する機会を設けるなど、多様な思考に触れ、自らの生き方・将来の働き方について深く考えさせる。 ③正しく情報を収集し、発信する能力を育成するために、定期的・継続的なネットリテラシー教育を実施していく。															
			達成方法	③「学校教育環境整備と質向上に向けて」															
		項目3		目標	学校生活や進路情報の効果的な情報発信をはかる ①学年通信・学級通信の定期的な発行、保護者向けガイダンスの実施を通して、学校生活や進路情報をご家庭と共有し、ご家庭と学校が両輪となって生徒を成長させる土台を構築する。特に大学入試方式に関する基本情報やスケジュール、進路選択に向けた考え方などを発信する。														
		項目1		項目2		項目3													
		重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度		
部署コード/平均		4.00	3.00	3.91	3.18	3.91	3.27												
1		4	3	4	3	4	3												
2		4	3	4	3	4	4												
3		4	3	4	3	4	3												
4		4	3	4	4	4	3												
5		4	2	4	2	4	3												
6		4	4	4	4	4	4												
7		4	3	4	3	4	3												
8		4	3	3	3	3	3												
9		4	2	4	4	4	4												
10		4	3	4	3	4	3												
11		4	4	4	3	4	3												
<取組状況・次年度への課題など>																			
項目1:「学力向上に向けて」について オンライン授業の定着度を測るために復習を重視する傾向となってしまい、予習重視の指導が不十分であった。また、学年生徒の学習傾向を精査し、ホームルームにおける学習指導や自主的に進める学習課題などの内容を再検討、活性化していきたい。予定していた校外プログラムが実施できなかったものもあるが、新たな様式のプログラムが実施されるようになり、GLCだけでなくアドバンストクラスの生徒にも校外プログラムへの参加を促していきたい。																			
項目2:「生きる力の育成に向けて」について 対面指導を実施する機会が例年よりも少なくなってしまったことに対応しきれず、十分な生活指導を実施することができなかつたことは否めない。社会のオンライン化がさらに進むなか、ネットリテラシーレベルや、ICT機器の活用レベルを引き上げるプログラムを次年度も計画的に実施していきたい。																			
項目3:「学校教育環境整備と質向上に向けて」 例外的な学校生活であったこともあり、例年よりも通信を発行するなどの情報発信の機会が多くはなつたが、情報を受け取って頂くための努力は不十分であったと考える。 また、目標とは異なるが、オンライン授業に対応できていない生徒も多く、保護者アンケートにもオンライン授業に対するご意見が多数見られた。これらのご意見をもとに対面とオンラインのハイブリッドな教育環境を整備していきたい。																			

令和2年度 学校経営計画 各学年重点目標と達成方法

		高校2年 令和2年度重点目標														
		重要度 [4]大変に重要 [3]やや重要 [2]あまり重要でない [1]重要でない 達成度 [4]75~100% (ほぼ達成した) [3]50~74% (まあまあ達成した) [2]25~49% (あまり達成できなかった) [1]0~24% (ほとんど達成できていない)														
項目1	達成方法	①「学力向上に向けて」														
		目標	①対面学習及びオンライン学習を通して「自ら学ぶ姿勢」「効果的・効率的な学習方法」を獲得できることを目的とし、自己実現力を育成する。 ②大学入試に必要な学力に関して、模試や検定を通して自ら客観的に分析し、自ら工夫して獲得する姿勢を身につける取り組みを用意する。 ③志望校選択や科目選択に関する情報をオンラインで入手できるような指導を通じ、自分で進路目標を設定できるように意識を向けていく。また、ポートフォリオの蓄積を継続することで進路選択の目的を明確にできるようにする。													
		達成方法	①1学期の自宅学習期間・オンライン学習期間を通して、自ら課題設定を行い学習する機会、オンデマンド講座を活用して学習する機会があった。それを活かせたかどうか振り返りながら、夏季休業の取り組み及び2学期以降の学習につなげていく体制を用意する。特に「対面指導・登校指導だからできること」と「自分で課題を設定して取り組むこと」を明確にして学習できるように指導していく。 ②模擬試験に関する取り組みは昨年と同様、「基礎学力」「受験学力」「大学入試共通テスト対策」という形でそれぞれの目的を明確にし、数値結果に固執せずにアセスメントを活用できるように指導していく。また、検定に関しては学力向上と大学入試での活用の両面から取り組みを進めていく。 ③今年度はオープンキャンパスもオンラインや資料中心となり、「夢ナビ」もオンライン実施となる。そのため、大学調べや科目選択の情報を自ら意識して入手する必要がある。夏季休業中課題などを通して、広い視野で検討できるような機会を用意する。また、ポートフォリオについては活動メモの記録を通して受験期の目的意識が薄れないように、また自己の進路希望とのマッチングが適切であるか確認できるように指導を行う。													
項目2	達成方法	目標	②「生きる力の育成に向けて」													
		達成方法	①「7つのルール」「校則」「生徒指導方針」を通して、社会で堂々と活躍できるような自立心・自律心を育成する。 ②受験期を意識したICTツール・スマートフォン・SNSとの付き合い方について、自らルールを決められるような力を育成する。													
		達成方法	①高校1年に引き続き高校2年でも重点課題を設定し、ガイダンスやクラスでの指導を通して身につけさせていく。それとともに、校外や対外行事でも堂々と活動できるように社会でのマナーやモラルについても指導していく。 ②例年以上にオンラインツールとの付き合いが必要になるため、自分または周囲の妨げにならないような使用法を考え、実行に移せるような指導を行う。													
項目3	達成方法	目標	③「学校教育環境整備と質向上に向けて」													
		達成方法	①保護者向けのガイダンスに関して、オンラインツールも活用しながら情報発信ができるように引き続き進めていく。 ②進路ガイダンスを充実化し、積極的に各種選抜方法に対応した情報提供を行っていく。													
		達成方法	①今年度は対面での保護者会やガイダンスが開催できていないが、その分だけmanabaを通して情報発信するように努めている。今後大学の情報提供や出願もオンラインで実施される場合が増えることを想定し、保護者も生徒と一緒にオンラインでの情報収集ができるよう、活用法の説明の機会を設けていく。 ②保護者の関心も大学受験のことにシフトしていく時期であるので、保護者対象進路ガイダンスだけでなく学年のガイダンスでも進路情報を提供していくように取り組む。													
		項目1	項目2	項目3												
		重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度									
部署コード/平均		4.00	3.33	3.75	3.17	3.92	3.42									
1		4	3	4	4	4	3									
2		4	3	4	3	4	3									
3		4	4	4	4	4	4									
4		4	3	3	2	4	3									
5		4	3	4	3	4	3									
6		4	3	4	3	4	3									
7		4	3	4	2	4	3									
8		4	3	3	3	4	3									
9		4	3	4	3	4	4									
10		4	4	3	4	3	4									
11		4	4	4	3	4	4									
12		4	4	4	4	4	4									
13		4	4	4	4	4	4									

項目1: COVID-19の影響を受けた1年となったが、オンライン学習という環境も含めいかに学習環境を構築するかに関しては担任および教科担当が工夫をしてくださったおかげで、英語を中心として模試偏差値も安定した形で終わることができた。また、イベントの振り返りをはじめとするポートフォリオの準備も着実に進んでいる。自ら計画して学習に取り組み、適切に先生の助言を受けるスタイルが確立している生徒も増えている。
ただ、各人のブラッシュアップという点や、自ら学習に向かうことが難しい生徒に関しての対応に関しては今後も検討が必要と考えられる。保護者アンケートでもオンラインでの苦労や今後の志望校合格に向けての不安等が出ているので、その点も考慮した上であと1年のプランを構築したい。

項目2: 対面時間が短かった分、学年一斉の身だしなみ検査や担任からの服装指導等を個別に実施した。自粛が続くことでの友人との交流が物理的に減少した分、LINEやTwitterでの交流が増えた様子であり、その点に関する情報モラル教育の必要性を感じた。また、オンライン授業に伴いICT環境に触れる機会が増えた分、YouTubeでの時間の浪費などが起こっているケースも見られる。今後受験に向かうにあたってこれらの点について十分注視する必要があると考える。
次年度は「社会で堂々と活動できるように」という点も強調しながら、卒業まで指導していきたい。

項目3: 「manabaに情報を集約したことで、情報を入手しやすくなりました」という意見、「対面の機会が少なかったため情報が直接入手できなくて不安でした」という意見の両方をいただいているので、このあたりは今後もバランスを取りながら進めていきたい。

令和2年度 学校経営計画 各学年重点目標と達成方法